

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 山々に接した南西側を除き、概ねなだらかな田園地帯が広がる土地利用型農業（水稻、麦、大豆）を中心とした中山間地域。
- 農業従事者の高齢化や後継者等担い手不足が進行しており、既存の担い手の更なる経営改善の取組支援や地区農業を新たに担う者の確保・育成が喫緊の課題。

【支援内容・背景】

- 担い手の生産体制の強化や規模拡大など経営改善に向けて、農作業の効率化や品質の向上等を図る取組に対し支援する必要。
- 助成対象者は、水稻、麦、大豆を中心にキャベツ等露地野菜との複合経営を展開し、規模拡大や雇用の安定確保、ICTによる圃場データの一元管理及び水稻等の防除作業へのドローン導入など生産方式の合理化に加え、既存営農組合に対する農業用機械の操作技術指導等による人材育成サポートにも取り組んでおり、地区における大規模複合経営の発展モデルとして育成・支援。



助成対象者「株式会社 ユーアス」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 昭和55年 農外から新規参入
- 平成8年 経営改善計画認定（個人）
- 平成12年 新たに露地野菜を導入し経営の複合化
- 平成17年 雇用型経営に展開
- 平成24年 法人化
- 平成25年 経営改善計画認定（法人）
- 平成30年 JGAP青果物2016（キャベツ）認証取得

《事業活用の背景》

○ 水稻の経営規模の拡大を図るためには、農作業の効率化及び低コスト化等による生産体制の強化が必要であることから、精米作業の効率化に資する施設・機械を導入。

【事業実施時の状況】
（R元年度）

- 付加価値額 71百万円
（売上高 105百万円）
- 販売単価（平均） 261円/kg
- 経営面積（水稻） 26.9ha
- 精米販売比率 約5%
- 精米処理能力 0.15t/h

《事業による整備内容》

- 精米施設 1棟
事業費 24,739千円
（国費 6,303千円）
- 精米機械一式
（玄米投入装置、精米機、色彩選別機 等）
事業費 31,889千円
（国費 8,697千円）



【現在の経営状況】
（R4年度）

- 付加価値額 87百万円（123%）
（売上高 113百万円）
- 販売単価（平均） 272円/kg（104%）
- 経営面積（水稻） 35.7ha（133%）
- 精米販売比率 約30%（600%）
- 精米処理能力 0.5t/h（333%）

事業の
効果

《対象者》 水稻作業の効率化及び低コスト化等が図られ、経営面積の拡大や収益の向上が実現。
《地区》 効率的な生産体制の強化が図られたことにより、担い手への農地集積や規模拡大に伴う新たな雇用も創出され、地区の中核となる安定した経営が可能な大規模複合経営モデルが確立。